

地域計画

策定年月日	令和7年3月24日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	高森町 434281
地域名 (地域内農業集落名)	草部北部地区 (中・矢津田)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	98 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	98 ha
② 田の面積	12 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	86 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考)区域内における60才以上の農業者の農地面積の合計	21.69 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	19.19 ha
(備考)遊休農地面積 2.7ha(うち1号遊休農地2.7ha)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。
3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5:(参考)の区域内における60才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・当地区は、水稻や畜産、施設野菜、露地野菜の栽培が盛んであり、また地域の特産物であるみさお大豆の作付けも行われている。中山間地域の条件不利農地が多数あり、更に地域農業者の高齢化が進み、担い手もおらず、耕作放棄地の更なる増加が懸念されている。新たな農地の受け手の確保が必要。 ・地域内の農業を担う者は、法人2経営体、個人10経営体、牧野組合が4組合であり、個人の平均年齢は67才である。 ・地域の農業の課題は、担い手不足で農地の維持が困難になりつつあることである。 【地域の基礎的データ】主な作物:水稻、畜産業(繁殖牛)、施設園芸、露地野菜、みさお大豆
--

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

当地区は、水稻や畜産、施設野菜、露地野菜、地域の特産物であるみさお大豆の栽培が行われている。地区の担い手のみでは、農地の維持ができなくなりつつあるので、他の地区からの担い手を確保し、農地の集積や集約を進め、さらに農作業の効率化を図るため、スマート農業の導入を進める。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農地中間管理機構を活用して、認定農業者を中心に団地面積の拡大を進めるとともに、担い手への農地集積を進める。			
(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	31.3	%	将来の目標とする集積率 50 %
(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標			
認定農業者を中心に団地面積の拡大を進めるとともに、担い手への農地集積・集団化を進めていく。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
担い手農家の意向も踏まえ、段階的に対象農地を農地中間管理機構に預けて集積、集団化を進めていく。
(2)農地中間管理機構の活用方法
農地の集積、集団化にあたっては、農地中間管理機構の活用を進めていく。
(3)基盤整備事業への取組
現在のところ取り組みはなし。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
町、JAと連携し、地域内外から多様な経営体を募集し、栽培技術指導や生産する農地をあっせんし、相談から切れ目のない取り組みを展開する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
作業の効率化が期待できる耕起作業は、町の第三セクターであるアグリセンターを活用していきたい。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☒ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①町や国の補助事業を活用し、電柵やワイヤーメッシュ柵を計画的に導入し、有害鳥獣対策に努める。
③国・県の補助事業を活用し、スマート農業に取り組み、後継者不足や高齢化対策に努める。
⑧農道が狭い所が多く、大型機械が入らないため作業の効率化が図れない。国や県に要望し補助事業を活用しながら農道拡幅を進めたい。
⑨中・矢津田地区で生産された飼料作物は、地区内の畜産農家へ供給しつつ、家畜排せつ由来堆肥は地区内の生産者に供給する仕組みを構築する。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			年後 (目標年度:令和 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
	別紙1のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計			ha	ha		ha	ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1	阿蘇高森オーガニックアグリセンター	耕起、肥料散布、ラッピング	

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農法		露地野菜、飼料	3.2 ha	0 ha	露地野菜、飼料	3.2 ha	0 ha	E-1	内原野(0.21ha)
到達		畜産(繁殖牛)、飼料	2.0 ha	0 ha	畜産(繁殖牛)、飼料	2.0 ha	0 ha	E-2	
認農		畜産(繁殖牛)、飼料	2.7 ha	0 ha	畜産(繁殖牛)、飼料	2.7 ha	0 ha	E-3	内原野(0.11ha)
牧野組合		飼料	29.7 ha	0 ha	飼料	29.7 ha	0 ha	E-4	内原野(27.7ha)
到達		露地野菜	3.5 ha	0 ha	露地野菜、飼料	3.5 ha	0 ha	E-5	
利用者		畜産(繁殖牛)、飼料	1.5 ha	0 ha	畜産(繁殖牛)、飼料	1.5 ha	0 ha	E-6	
到達		畜産(繁殖牛)、施設園芸、飼料	0.93 ha	0 ha	畜産(繁殖牛)、施設園芸、飼料	0.93 ha	0 ha	E-7	
牧野組合		飼料	4.6 ha	0 ha	飼料	4.6 ha	0 ha	E-8	内原野(3.7ha)
牧野組合		飼料	24.1 ha	0 ha	飼料	24.1 ha	0 ha	E-9	原野
牧野組合		飼料	8.8 ha	0 ha	飼料	8.8 ha	0 ha	E-10	原野
認農		施設野菜、露地野菜、飼料作物	3.8 ha	0 ha	施設野菜、露地野菜、飼料作物	3.8 ha	0 ha	E-11	
認農		水稻、施設野菜、穀物(みさお大豆)、飼料作物	3.7 ha	0 ha	水稻、施設野菜、穀物(みさお大豆)、飼料作物	3.7 ha	0 ha	E-12	
認農		畜産(繁殖牛)、飼料	0.49 ha	0 ha	畜産(繁殖牛)、飼料	0.49 ha	0 ha	E-13	
認農法		露地野菜	2.5 ha	0 ha	露地野菜	2.5 ha	0 ha	E-14	
到達		施設野菜、飼料作物	2.9 ha	0 ha	施設野菜、飼料作物	2.9 ha	0 ha	E-15	
利用者		穀物(みさお大豆)	0.86 ha	0 ha	穀物(みさお大豆)	0.86 ha	0 ha	E-16	
計	16経営体		95.3 ha	0 ha		95.3 ha	0 ha		